大学入試改革と新学習指導要領～高大接続改革その後

「多面的評価」で大学に多様性

総合型選抜、国立大も本腰

大学入学共通テストの導入から2年。英語の4技能試験や記述式問題の導入は見送られたが、各大学の個別入試の改革は着実に進んできた。大学入試改革の柱の一つだった受験生の学力の「多面的な評価」は今、どうなっているのか。

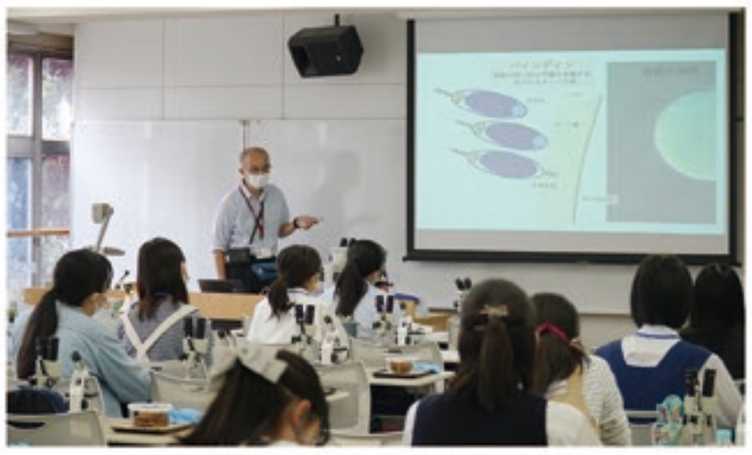
高校教員が学習・活動評定

大学の講義受けリポート

大学入試での多面的評価について、文科省の協力者会議が昨年3月に出した審議まとめでは「志願者と大学との相互選択を促進し、入学後の教育につなげて留年や退学を回避させることが可能となる」などと意義を説明し、各大学に引き続きの改善を求めた。その際、選抜区分に応じて工夫することを訴えている。

多面的評価が積極的に取り入れられてきたのは総合型選抜だ。近年、国立でも実施する大学が急増している。

昨年度から選考方法を変更した北海道大学の「フロンティア入試」（タイプ1）は、受験生の高校での学びや活動を高校教員に評価してもらうという挑戦的な試みだ。大学が受験生の高校に評価軸を提示し、授業の教科や活動について段階別に評価してもらい、その結果を選考に使う。



お茶の水女子大学の「新フンボルト入試」では、リポートや発表を評価する＝同大学提供

評価観点は「授業における課題解決で情報を的確に収集し活用する能力があるか」「グループワークではリーダーシップを発揮できるか」など学部・学科ごとに設けているという。

評価に当たって公平性を持たせるため、高校教員向けの評価マニュアルを整備した。高校には評価の根拠資料の提出を求めており、確認して妥当性が認められない場合は大学が評価点の補正を行うという。北海道大の入試課では、従来のAO入試とは異なる点を説明していくことが、これからの課題だとしている。

今年で7回目を迎えるお茶の水女子大学の「新フンボルト入試」。その特徴が1次選抜のプレゼミナールだ。大学で3時間に及ぶ講義を受けリポートを提出する。講義は毎年異なるが、歴史学や素粒子理論など文系・理系合わせて約10テーマを置いている。

また2次選抜では、文系は「図書館入試」、理系は「実験室入試」として、それぞれ面接やリポート作成などを求めている。限られた試験時間の中でも、基礎学力や思考力、適性など大学入学後に必要な能力を測ろうと導入した。

新フンボルト入試は共通テストを課していないこともあり、競争率は毎年10倍近くに及び、不合格者が一般選抜（前期）に出願する割合も25％程度と高いという。入試担当の安成英樹教授は「教員にとって負担は決して軽くはないが、高校生に大学での学びがどういうものかを知ってもらい、関心を持ってもらうための窓口になっている」と評価する。

従来の一般選抜では落としかねない、能力や個性を持った学生を受け入れる総合型選抜には、大学の「多様化」を促すメリットがある。

文科省の集計では昨年度実施の入試で、国立大学の総合型選抜の実施率は約8割で、過去最高を更新した。

国立大学協会は、令和6年度以降の入学者選抜の方針について「18歳人口の減少に伴い、将来的に選抜という視点に加えマッチングの視点が重要視されることも考えられる」などとして、総合型選抜や学校推薦型選抜の重要性を指摘。今後も拡大する考えを示している。

教育学部、一般選抜で導入進む

教職の適性を見極める

一般選抜で多面的評価の導入が進んでいるのが教育学部だ。

東京学芸大学では令和3年度入試から前期・後期の全ての選抜単位で、教員や教育支援職の適性を見るための小論文と面接の導入を始めた。これまでも一部で実施していたが対象を拡大した。

埼玉大学教育学部では令和4年度入試から前期日程の一部学科で面接を導入した。グループディスカッション能力などを測ることを目的に「専門適性検査」を実施している。集団討論やグループ活動などを行う。

教育学部で小論文や面接の導入が目立つのは、丁寧な選抜によって教職への意欲や適性を見極めたいという大学の思いがある。東京学芸大学では、小論文などを導入したところ、入学者対象の調査で、教職志望の割合が増加したという。同大学の濵田豊彦副学長は教育学部での多面的評価について「教員は人と関わる職業だからこそ、選抜においても意欲や適性などの見極めが一層重要だ」と話す。

教育学部以外でも多面的評価を取り入れている大学はある。佐賀大学では主体的な活動や実績を軸にした「特色加点申請書」を加点形式で実施している。私立の豊田工業大学では、一般入試の1次選抜の合格者に対して、2次選抜で面接試験を実施している。

新科目 高校はいま〈上〉

GISで情報収集、まとめる授業へ

地理総合

高校の地理歴史科で必履修科目になった「地理総合」は、地図や地理情報システム（GIS）で捉える現代世界▽国際理解と国際協力▽持続可能な地域づくり―を学習する新科目。情報を収集・まとめる技能を身に付けたり、課題解決の力を養ったりすることを目標としている。

新たに活用がうたわれているGISは、地図情報を表示・分析できる電子ツール。千葉県立千葉高校で1年生の地理総合を担当する太田貴之教諭は1学期、学校周辺の地図作りを実施した。

使用したのは国土地理院が提供している「地理院地図」など。土地の起伏を色別したり、標高の断面図を表したりできる他、作図機能もある。生徒には、土地利用の変化や通学路の特色など思い思いのテーマの地図を作らせ「グーグルドライブ」で発表させた。GISに初めて触れる生徒たちも、地図作りを楽しんでいたという。

2学期以降は防災の学習でGISを使う予定だ。世界の地形や気候の単元で、グーグルアースの機能を使い、特徴的な場所を巡ることも構想しているという。太田教諭は「地理総合は生徒自身が資料や地図を使い、調査や考察することが大切だ」と話す。

地球環境や人口問題などの学習でGISを活用したのは武蔵野大学中学校・高校（東京都）の糟谷武志教諭だ。担当するコースでは「国際理解と国際協力」の単元を中心に授業を設計。前期の授業では、地図の種類や見方などを学んだ後、単元にある資源・エネルギー問題などを扱った。夏休み明けには、生徒たちに関心のある国を1カ国選ばせ、GISを使った調べ学習に取り組むという。

タブレットを活用して議論する生徒たち＝武蔵野大学中学校・高校提供（一部を加工しています）

「生徒全員が同じ地図を見て、教室全体で情報を共有できるのが紙の地図のメリット。それに対して、GISは生徒ごとに目的に応じた地図情報に触れられる。個別最適な学びにもつながり、調べ学習との相性も良い」と糟谷教諭。紙の地図とGISのそれぞれの特徴を踏まえて活用することを提案している。

地歴科教員の地理の専門性をどう高めるか。地理総合は、令和7年度入学の大学入学共通テストで出題されることが決まっていて、教育委員会も対応に力を入れている。

神奈川県教委は地歴科教員の初任、5年目、10年目の研修にGISの使い方や指導法を取り入れた。県教委の担当者は「高校でも1人1台端末の活用が広まっている。多くの教員にGISの学習に必要な知識や指導技術を身に付けてほしい」と話す。

複数の地理関連学会でつくる地理学連携機構は、地理総合の必履修を受けて「地理教育フォーラム」を設立。高校教員向けのオンラインセミナーの開催や教材用素材の公開をしている。

◇

新学習指導要領の開始で本年度から始まった新科目を高校現場ではどう教えているのか。3回で伝えます。

※「第9回 夏の教育セミナー」に先駆けて高校教育や大学入試に関する情報を掲載します。

第9回
2022年実施
夏の教育セミナー
新学習指導要領と大学入学共通テスト
～ 令和7年度以降の入試に向けた、授業の組み立て方と評価について ～
主催：日本教育新聞社 ／ 株式会社 ナガセ（東進ハイスクール・東進衛星予備校）
後援：文部科学省、各都道府県教育委員会 ほか（申請中・予定）
参加無料
8/10（水）～31（水）
今年もオンラインで開催!
学校や先生方のご自宅から、期間中ご都合の良い時間にオンラインで参加できるWEBセミナー形式です。パソコン・タブレット・スマホから動画で視聴できます。

明日からの指導に役立つ「授業のヒント」が満載!
昨年は9,000名以上が申込
高校の先生向け WEBセミナー
文部科学省 ご担当者の基調講演
高校の先生による 授業実践
志を育む 東進の特別講座

オンライン配信内容（予定）　※講演者情報は7/20現在、敬称略

❶ 教育改革の最新の動きを知る
文部科学省担当者の基調講演から最新情報を!
基調講演
平野 博紀 文部科学省 高等教育局大学振興課 大学入試室長
矢幅 清司 文部科学省 初等中等教育局 視学官

❷ 授業の実践法を学び・深める
高等学校での授業実践から学ぶ!（英・数・国に加え、選択科目も!）
その他に「地歴（歴史総合）」の授業実践を講演予定
授業実践（一部）
山本 崇雄 英語 横浜創英中学・高等学校 校長補佐 新渡戸文化学園 ラーニングディレクター 他
土屋 進一 英語 西武学園文理高等学校 教諭
鶴迫 貴司 数学 東山中学・高等学校 教諭
酒井 淳平 数学 立命館宇治中学校・高等学校 教諭
河口 竜行 国語 渋谷教育学園渋谷中学高等学校 教諭
齋藤 祐 理科 中央大学附属中学校・高等学校 教諭
田中 義靖 理科（化学） 東京都立多摩科学技術高等学校 指導教諭
糟谷 武志 地歴（地理総合） 武蔵野大学中学校・高校 教諭
山本 智也 公民（公共） 筑波大学附属駒場中・高等学校 教諭
中野 由章 情報 工学院大学附属中学校・高等学校 校長
木村 健太 探究 広尾学園中学校・高等学校 医進・サイエンスコース統括長
安河内 哲也 英語 東進ハイスクール・東進衛星予備校 講師
正司 光範 小論文・推薦入試 東進ハイスクール・東進衛星予備校・早稲田塾 講師
質疑応答もございますので、申込フォームにある質問欄から、ぜひ疑問や気になる点をお知らせください。
＼講演内容がわかる!／ 紹介動画公開中

お申し込みはWEBで!
最新情報は順次公開 summer-seminar.com 好評受付中!
夏の教育セミナー 検索
日本教育新聞、および東進（株式会社ナガセ）のウェブサイトからも、専用サイトに行くことができます。
お問い合わせ 夏の教育セミナー事務局 summer-seminar@nagasebros.com